

早稲田大学中央図書館へのお誘い

5月27日(金)には井深記念ホールの隣にある早稲田大学中央図書館を見学することができます。

受付で「塑性加工学会員」であることを名乗って頂ければ、入館できるように致しました。

中央図書館は1882年、東京専門学校（現早稲田大学）の創立と同時に設置された図書室から始まります。110年目の1991年、安部球場跡地に国際会議場（井深記念ホール）と中央図書館からなる総合学術情報センターが建設され、蔵書総数約250万冊、年間入館者数のべ約100万人（平日一日平均約4,000人）閲覧席数約1,800席となっております。是非お越し下さい。



中央図書館内の2階から3階へと通じる中央階段踊り場に、日本を代表する日本画家で本学名誉博士でもある平山郁夫氏の作品「熊野路・古道」が展示されております。「真理探究の奥深さ」がテーマで、森の奥深く消える古道は学問の深遠さを象徴し、上方に輝く曙光は厳しい道の果てにある希望と安らぎを暗示しているとされています。是非おたずね下さい。

